

最低賃金は生存権を保障する

憲法第25条「生存権」
①すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

この「生存権」は、「社会権」すなわち、「国に対し、社会福祉の実現のために各方面で適切に対応するよう求め、正しく支援を受けうる権利」(駒村圭吾編『プレス・テップ憲法(第4版)』弘文堂、145頁)の原則的な規定と位置付けられています。

保障されていない農家の生存権

2023年における農家の時給を科目別で表(右下)に示しています。

2021、2022年に時給10円という衝撃的な数値を示した水田作

国は「生存権」の趣旨に基づいて賃金の最低額を定め、使用者(事業主)は最低賃金額以上の賃金を労働者に支払わなければならない、とする法律が「最低賃金法」です。

〈2〉 農家の生存権を考える

「稲作」は97円。大幅増とはいっても100円にも達していません。そして肥育牛と養豚は赤字です。最も高い果樹でも692円で、最低賃金には遠く及びません。

補助金漬けの気楽な仕事ではない

『ともぐい』で2024年に直木賞を受賞した河崎秋子氏は、大学卒業後、実家の牧場で酪農と綿羊飼育に従事しました。近著『父が牛飼いに

『ともぐい』で2024年に直木賞を受賞した河崎秋子氏は、大学卒業後、実家の牧場で酪農と綿羊飼育に従事しました。近著『父が牛飼いに

米農家の時給は97円 2023年営農類型別農業経営収支(全農業経営体・全国・1経営体当たり)					
	①農業粗収益(万円)	②農業経営費(万円)	③農業所得(=①-②、万円)	④自営農業労働時間	⑤時給(円)(=③/④)
水田作(=稲作)	404	394	10	995	97
露地野菜	1,237	1,013	225	4,006	561
施設野菜	1,871	1,511	360	6,195	580
果樹	814	588	227	3,275	692
露地花き	971	788	183	4,253	429
施設花き	2,229	1,852	376	6,801	553
酪農	10,152	9,969	183	8,428	217
肥育牛	15,423	15,558	-135	7,155	-188
養豚	31,802	32,092	-290	15,446	-188
ブロイラー	16,434	16,043	391	6,216	629

注) 農水省「2023年 営農類型別農業経営統計」より作成

消費者に安心安全な食料としての牛乳を安定してお届けしていきたいから

「ともぐい」という愚行

生産者も消費者も、共に「生存する権利」を有しています。その権利を脅かす、「ともぐい」という愚行を冒すべきではありません。

「対立構造の罠」に陥るな

単純化すれば、生産者は少しでも高値で評価されたい。他方、消費者は少しでも節約したい。景気が回復していないにもかかわらず、物価が高騰しているときにはなおさらです。しかしその延長線上にあるのは、生産者と消費者との不毛な分断と対立です。

「稲作」は97円。大幅増とはいっても100円にも達していません。そして肥育牛と養豚は赤字です。最も高い果樹でも692円で、最低賃金には遠く及びません。

JAぎふの岩佐哲司組合長は、農業協同組合新

こまつやすのふ 一般社団法人長野県農協地域開発機構研究部長。著書に『新訂版 非敗の思想と農ある世界』(大学教育出版)『農ある世界と地方の眼力117』(大学教育出版『隠れ共産党宣言』(新日本出版社)など。

編集部メールアドレス s-press@shinfujin.gr.jp

ホットライン

岐阜

ウクレレ小組
保育園で演奏

【関支部東班 桂川裕見子】ウクレレ小組を始め、3年半。レパートリーも少しずつ増えてきました。昨秋、支部のフェスティバルで演奏できて楽しかったので、「またできる」と話していたら、市内の保育園の



ウクレレ体験会も▲岐阜

誕生会での演奏を頼まれました。園児が歌い、私たちが演奏。子どもと一緒に楽しむことができてとてもよかったです。

3月の例会の前に食事を計画し、おしゃべりが弾みました。ますますみんなで楽しくできそうです。4月にはウクレレ小組体験会も。仲間を増やしたいです。

千葉

認知症マフ
つくった

【野田支部たんぽぽ班 橋本京子】本紙2月1日号に紹介された「つくってみよう」認知症マフ」を見て、班会で作ることに。手持ちの毛糸を持ちより、久しぶりの編み物にワイワイガヤガヤ。まずはしんぶんを参考に、アクセサリはネットで検索したものも取り入れ



カラフルなマフが完成▲千葉

入院中の重度の認知症の患者さんが安全に医療をうけられるお役に立てればと取り組みました。作り方を考えたり、手先を使ったり、教え合ったり、おしゃべりしながらの作業は、私たち自身の認知症予防に役立つこと間違いなしです。

東京

写真小組で
ポートレート

【清瀬支部こぶし班 藤幸子】こぶし班の写真



次つぎ10人が被写体に▲東京

小組です。メンバーが撮り手で、スタジオは個人宅。「人生で一番若い今日の私を撮って!」と次つぎ被写体になります。表情や化粧をチェックしながらみんな生きいき。

スカーフ使いを得意としているM子さんのアドバイスに納得したり、和やかな空気の中でその人らしい自然なポートレート写真になりますように!

通信の投稿をお待ちしています

各地のとりくみを300字程度で、写真を添えてお寄せください。編集の都合上、短くする場合があります。支部、班・小組名、投稿者の氏名、電話番号を明記し、下記宛先まで郵送かメールでお送りください。掲載分にはクオカードを進呈。
◆送り先: 〒112-0002東京都文京区小石川5-10-20 新婦人しんぶん編集部「ホットライン」係
Eメール: s-press@shinfujin.gr.jp